

大学院研究室だより

大学院の開設

1987年4月神田外語大学外国語学部：英米語学科200名・中国語学科60名・スペイン語学科20名・韓国語学科20名を設置し開学。

1992年4月神田外語大学大学院言語科学研究科が、英語学専攻（修士課程）と日本語学専攻（修士課程）の2専攻、入学定員：英語学専攻8名・日本語学専攻8名をもって開設。現在は英語学専攻が英語学コース・英語教育学コース・英語コミュニケーションコースの3コース、日本語学専攻が日本語学コース・日本語教育学コースの2コース、計5コースを設置。

更に、学際的言語科学の創造的開発能力を持つ研究者養成の為、神田外語大学大学院言語科学研究科博士（後期）課程を1994年4月に入学定員2名として設置。

開設からの入学者数及び修了者数

修士課程（博士前期課程）

博士後期課程

| | 英語学専攻 | | 日本語学専攻 | | 言語科学専攻 | |
|-----|-------|-----|--------|-----|--------|------|
| | 入学者 | 修了者 | 入学者 | 修了者 | 入学者 | 満期退学 |
| 一期生 | 8人 | 5人 | 10人 | 8人 | 3人 | 3人 |
| 二期生 | 6人 | 3人 | 12人 | 10人 | 2人 | |
| 三期生 | 5人 | 4人 | 9人 | 9人 | 2人 | |
| 四期生 | 7人 | 5人 | 9人 | 9人 | 2人 | |
| 五期生 | 4人 | 2人 | 9人 | 2人 | | |
| 六期生 | 10人 | | 6人 | | | |
| 合計 | 40人 | 19人 | 55人 | 38人 | 9人 | 3人 |

平成9年度修士論文題目と執筆者氏名（前期修了者）

英語学専攻

- “A Study of Word Usage of F. D. R’ s First Inaugural Address
— ‘We’ and Verb Relations” 安留多嘉子
- “Perception Gap between Japanese Host Mothers and
Female International Students” 齋藤 和代

日本語学専攻

- 「『関連性理論』における話し言葉に現れる省略文の分析
— 文末部分の省略を中心に—」 内藤 晶子

平成9年度修士論文題目と執筆者氏名

英語学専攻

- “A Study of ‘Moriagari’ in Two-Party Interactions:
A Conversation Analysis of Japanese College Students” 五十嵐紀子
- “A Syntactic Analysis of a Class of V-N Compounds:
on V-Goro ‘Time’ Compounds” 林 剛
- “A Study Comparing the Affects of Two Variables - -
Speed of Delivery and Pitch of Delivery on the Listening
Comprehension of Japanese Students of English” 秋葉 由紀
- “A Study of the Use of Cohesion and Coherence in English
Composition Writing : the Concepts and Some Implications
for Teaching English in Japanese High Schools” 藤咲多恵子

日本語学専攻

- 「心理動詞群の全体像 — 格と構造 —」 長松谷有紀
- 「擬態語の動詞化に関する日朝対照研究
— 『擬態語 + する/하다 [hata] 』とその周辺」 篠宮 卓也

修士課程修了者の進路

修士課程修了者は上記の通り1期生から5期生まで57名（英語学専攻19名日本語学専攻38名）である。

社会人学生も多いので、これらの学生は在学中から中学・高校の英語教諭、日本語教師養成や日本語教育の常勤または非常勤講師として活躍している。

課程終了後の進路としては、94年開設の博士後期課程への進学5名、他大学の大学院への進学1名、神田外語大学言語教育研究所専任助手2名、北京にある日本人学校の教師1名、韓国の慶北大学の日本語講師5名、同じく韓国の昌原大学の日本語講師1名、中国の広東外語外貿大学の日本語講師1名、台湾の銘伝大学の日本語講師1名などで、国内はもとより海外での活躍も目立つ。

博士論文提出資格者

博士論文提出資格は本学大学院言語科学研究科言語科学専攻博士後期課程における所定の単位を修得し、かつ研究報告論文審査に合格した者に授与されるもので、前年度に第1期生3名がその資格を得た。

「卓越した研究拠点」（Center of Excellence — COE）

文部省科学研究費による先端的言語研究のプロジェクトが、本学大学院を拠点として1996年に発足した。井上和子教授を研究リーダーとし、本学内外の研究者が39名参加している。研究テーマは「先端的言語理論の構築とその多角的な実証」である。

平成9年度 講演会・研究会

<神田外語大学大学院講演会>

Effectiveness in Intercultural Communication 1997年5月8日
元国際基督教大学教授 Edward C. Stewart

1. The “Northridge Earthquake” Conversations: 1997年5月15日
 Floor Management and Turn-taking Behaviours of Thai,
 Japanese and American English speakers
2. Nihongo Kyooiku to Nihongo Senkoo (major):
 Thammasat Daigaku to UCLA wo hikakushite
 UCLA 準教授 岩崎 勝一

大学院事務局人事異動

大学院共同研究室の教務補佐員として平成8年3月から就任していた大野ゆりさんが、平成9年9月をもって退職。後任には柏木順子さんが就任している。

平成9年度開講科目、担当者

[修士課程]

— 英語学専攻 —

— 日本語学専攻 —

| 授業科目 | 担当者 | 授業科目 | 担当者 |
|-----------------------|----------|------------------------|-------|
| 英語学研究ⅡA・B (統語論) | 渡辺 明 | 日本語学研究ⅡA・B (統語論) | 奥津敬一郎 |
| 英語学研究ⅢA・B (語彙・意味論) | 渡辺 明 | 日本語学研究ⅢA・B (語彙・意味論) | 徳永 美暁 |
| 英語学研究Ⅳ (現代英語語法) | 久泉 鶴雄 | 日本語学研究Ⅳ (方言研究) | 大島 一郎 |
| 英語学演習Ⅰ | 村木 正武 | 日本語史 | 大島 一郎 |
| 英語学演習Ⅱ | 長谷川信子 | 日本語学演習 | 大島 一郎 |
| 英語教授法 | S. イーグル | 日本語教育学演習Ⅰ | 奥津敬一郎 |
| 英語表現法Ⅰ | 原岡 笙子 | 日本語教育学演習Ⅱ | 徳永 美暁 |
| 英語表現法Ⅱ | B. ホートン | 日本事情 | 山領 健二 |
| 英語教育学演習Ⅰ | F. ジョンソン | 日中韓対照言語学 | 奥津敬一郎 |
| 英語教育学演習Ⅱ | 佐々木輝雄 | 中国語学概論 | 今井 敬子 |
| 英語コミュニケーション論 | E. ボーマン | スペイン語学概論 | 江藤 一郎 |
| スピーチコミュニケーション | 松本 茂 | 韓国語学概論 | 浜之上 幸 |

| 授業科目 | 担当者 | 授業科目 | 担当者 |
|---------------|-------|---------|-------|
| 英語コミュニケーション演習 | 久米 昭元 | 日本語教授法Ⅰ | 岩本 遠億 |
| | | 日本語教授法Ⅱ | 徳永 美暁 |

一両専攻共通科目一

| | | | |
|---------------|-------|---------|-------|
| 音韻論A・B | 田端 敏幸 | 英日対照言語学 | 井上 和子 |
| 言語習得理論 | 大津由紀雄 | 言語学特論Ⅰ | 岩本 遠億 |
| 異文化コミュニケーション論 | 久米 昭元 | 言語学特論Ⅱ | 原口 庄輔 |
| 日本語表現法A | 岩本 遠億 | 言語学特論Ⅲ | 桑原 和生 |
| 言語学 | 長谷川信子 | 言語学特論Ⅳ | 石居 康男 |
| 日本語学研究Ⅰ | 大島 一郎 | 日本語学概論 | 奥津敬一郎 |
| (音声・文字) | | 日本文化論 | 太田 雄三 |
| 意味論 | 村木 正武 | 英文学研究 | 森田 正實 |

[博士後期課程]

一言語科学専攻一

| 授業科目 | 担当者 | 授業科目 | 担当者 |
|------------|-------|---------------|----------|
| 言語学特論演習(1) | 井上 和子 | 英語学特殊研究 | F. ジョンソン |
| 言語学特論演習(2) | 奥津敬一郎 | 日本語学特論演習 | 大島 一郎 |
| 英語学特論演習(1) | 村木 正武 | 日本語学特殊研究 | 徳永 美暁 |
| 英語学特論演習(2) | 長谷川信子 | コミュニケーション特殊研究 | 久米 昭元 |
| 言語学特殊研究 | 長谷川信子 | | |

執筆者紹介（掲載順）

村 木 正 武
内 藤 晶 子
林 昌 奎
乾 浩 浩
糸 井 江 美
藤 卷 一 真

神田外語大学大学院教授
神田外国語大学大学院前期終了
神田外国語大学大学院前期終了
神田外国語大学大学院前期終了
神田外国語大学大学院前期終了
神田外国語大学大学院後期終了

言 語 学
日 本 語 学
日 本 語 学
日 本 語 学
英 語 学
言 語 学

編 集 委 員

渡 辺 明（委員長）
岩 本 遠 億
外 崎 淑 子
河 合 裕美子
伊 藤 健 人
柏 木 順 子（事務担当）

言語科学研究 第4号

1998年3月発行

発 行 〒261-0014 千葉県美浜区若葉1-4-1

神田外語大学大学院

TEL. 043-273-1233

FAX. 043-272-1777

印 刷 〒112-0002 東京都文京区小石川1-5-12

猪瀬印刷株式会社